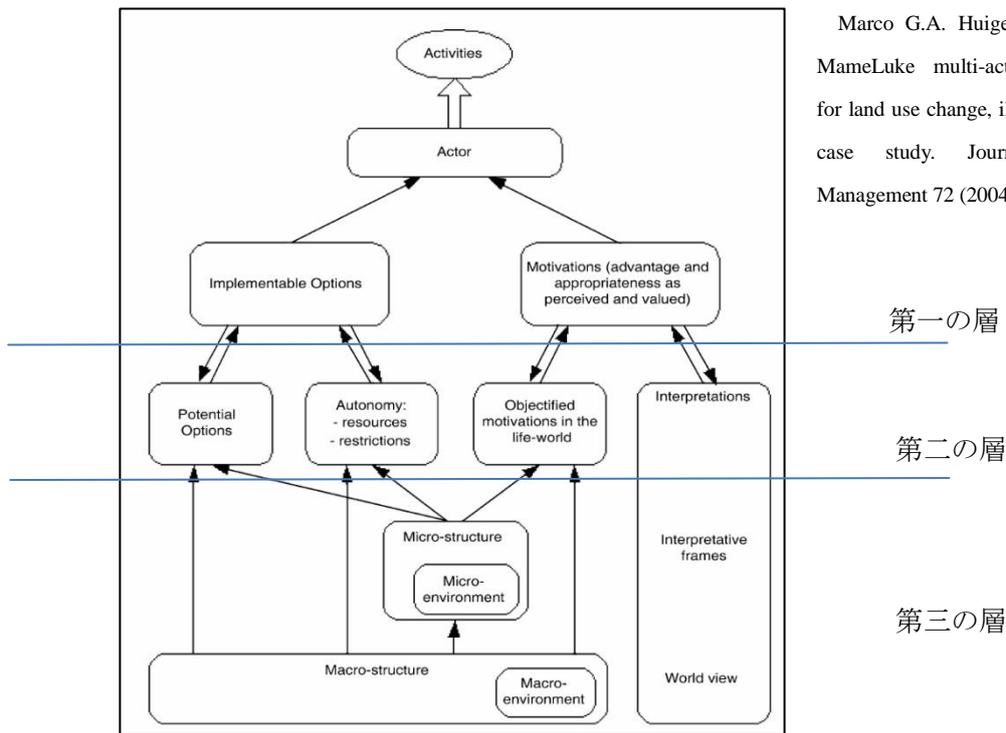


1、Actor-based approach とは

Actor-based approach とは、利害関係の違いによって分類されたアクターに着目し、それぞれのアクターがどのような意思決定のもとに行動したのか、またアクター同士がどのような関係にあるのかを明らかにすることで、例えば森林劣化が引き起こされた原因や収益性の高い農作物が農民に拒否される原因、外来生物が駆除されない理由などを検討しようとする方法論である。

アクターは、個人や集団、企業、組合などが考えられるが、同じ個人でも複数のアクターに所属している場合もあれば、多くの人びとが所属している組織がひとつのアクターとして分類できる場合もある。

2、Actor はいかに意思決定するのか: Actor's decision making



Marco G.A. Huigen. First principles of the MameLuke multi-actor modeling framework for land use change, illustrated with a Philippine case study. Journal of Environmental Management 72 (2004) .p10 より

Actor's decision making

【第一の層】

*アクターの行動は “Implementable options” と “Motivation” に裏打ちされている。

【第二の層】

* Potential options: 考えうるすべての選択肢 (ex. 爆弾を使った漁、電気を使った漁)

* Autonomy: 実行できる選択肢の範囲や程度 (ex. 漁期、ルール、資源の多寡)

* Objectified motivations: 計量できる具体的な動機 (ex. 儲け、作業時間、軽油代、カロリーなど)。

* Interpretation: 判断、計量できない動機。(ex. 一貫性や外見、模範的な農民になるには)

【第三の層】

* Micro-structure : 特定の地域の置かれた状況 (ex. 外来魚駆除)

* Interpretative frame: 特定の社会に伝わっている知識、伝統、信念、道徳 (内心に影響を与えるもの)

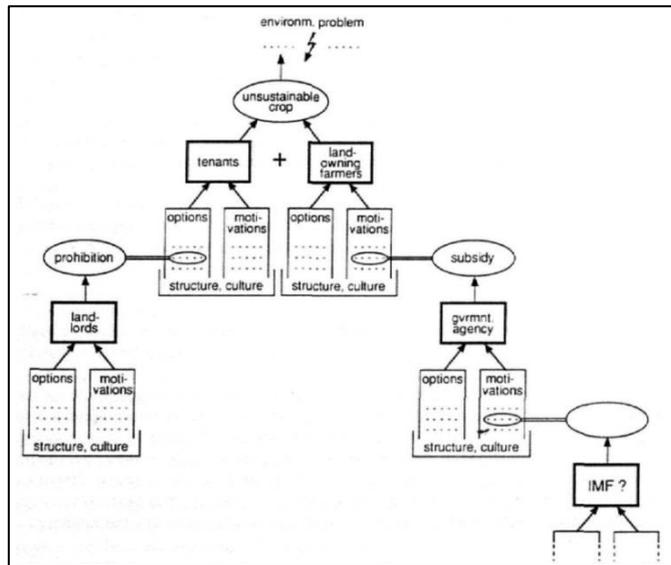
* World view : グローバルな考え方 (ex. 生物多様性の思想、西洋医学)

* Macro-structure : アクターが行動を起こす上で影響するもの (ex. 自然環境、物理的な人工物など)

3、アクター同士の関係性はどうか：Actor-in-Context

*Actor-in-Contextとは、主要なアクターに影響を与えるほかのアクターも考慮に入れた図である。

- Ex. ・農民の行動や動機を考えると種子を売る商人や補助金を出す行政は第二のアクターとなる。
 ・第三のアクターは、第二のアクターに影響を与える。こういったものをまとめてみる。



Wouter T. de Groot. Environmental Science Theory.1992.p318 より

Actor-in-Context

問題：ゴムの木の栽培を押し進めようとするが、なぜか導入されない。

【土地持ち農家の場合】

第一のアクター：土地持ち農家

- ・土地持ち農家にとって、安定的な収入が得られるゴムの木は有効な選択肢のひとつ。
- ・しかし、植林から収穫（ラテックスの白い樹液が得られる）までに7年かかる。
- ・現在、焼畑によってバナナを栽培しているが、それで比較的安定した収入が得られている。

第二のアクター：地方政府、農業省

- ・地方政府が補助金を出せば、土地持ちの農家の動機のなかにゴムの栽培が入る

第三のアクター：IMF

- ・IMFの指示が農業省の動機になっている。（焼畑を止めさせるようにという指示）

【小作人の場合】

第一のアクター：小作人

- ・不安定な立場の小作人は、ゴムを導入したことで利益がでるかどうかもわからない
- ・ただ、安定的にラテックスが採取できるゴムの木の導入によって小作人の契約期間が延長されるかも。

第二のアクター：地主

- ・小作人を定期的に雇わなければならない。
- ・植林から収穫（ラテックスの白い樹液が得られる）までに7年かかる。

参考になる文献

Orlove,B.S.(1980).Ecological Anthropology. Ann.Rev.anthropol.9:235-273

Rambo,A.T.(1983).Conceptual Approaches to Human Ecology. East-West Environment and Policy Institute

De Groot, W. T. (1992). Environmental Science Theory. Elsevier Science Publishers, Amsterdam.

小谷真吾 (2009) 「商業的森林伐採におけるポリティカルエコロジー」 『千葉大学人文研究』 (38), 1-21